from Musashino Art University
Degree Show 2021

SELECTED WORKS

［凡例］

- 優秀賞受賞者数と展示スペースの都合により、出品作品の多くは卒業・修了制作展時の抜粋または記録による展示である。そのため、本目録では卒業・修了制作展時の作品情報を全て記した。本展出品作品の情報は、会場に設置したキャプションを参照されたい。
- 各出品情報は学科（コース、専攻）ごと、出品者名の五十音順で記した。
- 各出品情報は出品者本人による記述をもとに当館が編集し、以下の順に記した。

出品番号
出品者名　出品者名英字
作品名
素材・技法
サイズ
→本展での展示場所

・作家名がある場合、作家名（出品者名）　作家名英字（出品者英字）の順に記したが、本人希望により作家名のみ記す場合もある。
・作品名について、個別の作品名に加えて、作品群全体にも名称がある場合、個別の作品名の前に記した。
・メディアやジャンル等（インスタレーション等）について、一部、素材・技法の前に記したものもある。
・素材・技法およびサイズについて、作品が複数点ある場合、原則作品名順に記した。
・サイズについて、単位はmmで、［H（高さ）］×［W（幅）］×［D（奥行）］、［縦］×［横］、可変のいずれかで記した。そのほか、論文については［頁数（字数）］、映像については［**分**秒］など、作品形態に合わせて適宜記した。

日本画学科

001
後藤 まどか Goto Madoka
ルート｜ピリオド
高知麻紙、楮紙、岩絵具、水干絵具、墨、新聞紙｜雲肌麻紙、岩絵具、水干絵具、墨、金泥、段ボール
2973×1818、1818×2273
→展示室3

002
蜂須 瑚々 Hachisu Koko
9回裏2アウト
高知麻紙、岩絵具、水干絵具、墨
1820×5460
→展示室1

油絵学科［油絵専攻］

003
岡村 あい子 Okamura Aiko
献花｜思い耽る
手書きアニメーション
プロジェクタ、暗幕
2分50秒、1分40秒
→展示室3

004
ソウ キンモン Tsang Kamman
網羅
平面：パネル、油絵具、立体：石粉粘土
平面：2270×3600、立体：500×1400×1000
→展示室3

005
髙橋 冴 Takahashi Sae
シスター
インスタレーション
綿布、パネル、油絵具、木材
1820×7000×3500
→展示室3

006
田内 泰生 Tanouchi Taisei
境目の無いプレイヤー
インスタレーション
液晶ディスプレイ、監視カメラ、セメント、キャンバス、アクリル絵具
可変
→展示室1

007
羊水 サヤ Yosui Saya
そして夜明けを拒むでしょう
今日からあなたはわたしの夢だけをみる｜夜空を飛んであなたの夜の中へ｜あの遠くにある木のなかの後ろ｜星の数と同じだけ｜蝶々｜いつもあたたかく瞬く｜満ちる途中｜Walk in a dream
キャンバス、油絵具、木炭
1303×1940、1303×1940、1303×1940、410×318、500×400、455×606、300×400、300×400
→展示室3

008
中村 夏野 Nakamura Kano
Untitled
インスタレーション
布、紙、パステル、インクジェットプリント
5000×9600×4500
→展示室3

009
吉田 彩子 Yoshida Ayako
母は言った。「ここに光がありますように。」こうして、そこに何かが現れた。
インスタレーション
紙、塩ビシート、石粉粘土、紙粘土、ワイヤー、畳、水性塗料、弟が描いた絵、ほか
可変
→展示室3

油絵学科［版画専攻］

010
大川 菜々子 Okawa Nanako
日々のこと
和紙、水性インク、木版
［最小］148×100−［最大］745×563（43点）
→展示室3

011
原田 圭捺 Harada Keina
観賞される役割 —Admiration role—
インスタレーション
紙、インク、リトグラフ、リソグラフ
可変［版画30点、冊子『A woman is』、アートブック『Flower Waching』計8点による］
→展示室3

彫刻学科

012
徳竹 玲音 Tokutake Reon
Poderosa
鉄、青銅
2950×4050×1330
→アトリウム 1

013
向井 ひかり Mukai Hikari
ななめに立つ
クリームロウソク｜パース｜光り輝くねこじゃらし｜幸水梨｜恐竜を襲うウニ｜コマ
糊付き綿布、フェアリーライト、鉄、紙、蛍光塗料、磁土、セメント、小麦粉、ほか
映像：11秒、885×423×530、［最小］12×39×4−［最大］31×76×5（15点）、43×900×368／42×731×371／140×126×2（3点1組）、61×140×267／322×180×5（2点1組）、490×78
→アトリウム 1

014
本岡 景太 Motooka Keita
舟｜はりつけの大きなカーテン
紙、歪曲張り子
1500×2205×770、3580×2425×545
→アトリウム 1

視覚伝達デザイン学科

015
伊藤 遼佑 Ito Ryosuke
ぼくたちのひみつきち —子供の行動と遊び—
MDF、アクリル、スタイロフォーム、レジン、木球、プラスチック、毛糸、紙
玩具：［最小］33×298×298−［最大］155×374×157（6点）、冊子：各297×210（2頁、6点）
→展示室2

016
伊林 和香 Ibayashi Nodoka
分類の分類—図が伝える世界への眼差し—
紙、コンピュータ
年表：1500×5320、800×5320、本：297×210（284頁）、思考ツール：516×650（モニタサイズ）
→展示室4

017
上田 さつき Ueda Satsuki
SNS：スペクタクルな日常
木材、紙、アクリル塗料、家具、ほか
インスタレーション：2300×4000×6000、本：515×364（74頁）
→展示室3

018
河北 瑠慧 Kawakita Ruchie
あなたの肌 は あなただけの肌
発泡スチロール、石粉粘土、レジン、アクリル絵具、ニス
［最小］70×115×50−［最大］105×320×70（6点）
→展示室1

019
木内 晶文 Kiuchi Aki
私にとっての森 —快さの姿—
紙、アクリルガッシュ
平面：各170×170（4点）、各190×190（36点）、本：170×170（276頁）、297×210（80頁）
→展示室4

020
河野 未有 Kono Miu
I Think This, You Think That
紙
絵本：各201×201（17頁、5点）
→展示室4

021
濵田 優 Hamada Yu
memento mori
イラストレーション
紙、インク
各725×1030（2点）、各515×725（2点）、725×515、420×594、362×515、515×362、各365×260（2点）、298×210
→展示室3

022
三木 和奏 Miki Wakana
どんどこせかい
アニメーション
プロジェクタ、MDF
映像：2分48秒、円形投影面：900×900
→美術館ホール前

工芸工業デザイン学科［インダストリアルデザインコース］

023
新井 崇仁 Arai Takahito
Dialog
プレゼンテーション
PLA樹脂、3Dプリント
模型：680×340×340
→展示室2

024
伊藤 聖人 Ito Masato
Chain ?を!に変える好奇心探求ロボット
プレゼンテーション
PLA樹脂、レジン、液晶ディスプレイ、プロジェクタ、3Dプリント
ロボット：62×140×140、528×300×540、映像：3分02秒
→展示室2

025
グォン ジス Kwon Ji Soo
SHE SAY —社会人向けの健康な姿勢の認識を高めるサービス—
プレゼンテーション
コンピュータ、プロジェクタ
投影面：1500×1500、映像：1分50秒
→展示室2

工芸工業デザイン学科［クラフトデザインコース］

026［金工専攻］
名取 愛梨 Natori Airi
Middle Of Nowhere —どこでもない 不思議な世界
インスタレーション
鉄、鍛造
可変
→エントランス

027［木工専攻］
谷本 風花 Tanimoto Fuka
Boîtes en bois
ハードメープル、成形合板、指物
［最小］75×160×75−［最大］160×220×160（8点）
→アトリウム 2

028［ガラス専攻］
大川原 更咲 Okawahara Sarasa
記憶を染める
ガラス、藍、キャスティング、発泡ガラス
［最小］100×100×200−［最大］700×700×300（8点）
→エントランス

from Musashino Art University Degree Show 2021

029［テキスタイル専攻］
齋藤 梨夏乃 Saito Rikano
解放
羊毛、ポリスチレンフォーム、木材、ニードルフェルティング、ノッティング織
2500×4000×500
→展示室3

空間演出デザイン学科

030
岩村 朋佳 Iwamura Tomoka
fish
インスタレーション
木材、布、プロジェクタ、ほか
可変
→第10講義室前

031
金指 吉映 Kanasashi Yoshiaki
Ulteria
—Rotate Your Phone: Shopping is Best Experienced in Landscape Orientation—
液晶ディスプレイ、紙、
本：297×210（158頁）、映像：2分00秒
→アトリウム 2

032
後藤 二子 Goto Niko
味わう模様
封筒、インクジェットプリント、古着、木材
各1800×450（7点）
→アトリウム 2

033
佐藤 舞季 Sato Maki
ブラフマンの埋葬
木材、漆喰、壁紙、発砲スチロール、紙、ほか
ドラマセット：2700×2700×3600、模型：100×800×550、映像：36秒
→展示室5前

034
下里 佳穂 Shimozato Kaho
吉澤 美佑 Yoshizawa Miyuu
born
インスタレーション
木材、布、モーター、ほか
2900×2700×2700
→展示室5

035
諏訪 萌々子 Suwa Momoko
刻々
インスタレーション
OHPフィルム
3800×5400×300
→展示室5

036
忠井 美樹 Tadai Miki
Introspection:
the Way You Are Within Yourself
インスタレーション
シリコーンゴム、ビニールシート、振動マシン、プロジェクタ、ほか
可変［映像：4分37秒を含む］
→展示室1

037
藤田 莉帆 Fujita Riho
大きな魔女たち
ファッションショー
ベロア、綿布、ほか
上演時間：13分00秒（20体）
→展示室5

038
山本 珠聡 Yamamoto Misato
self-satisfaction
パフォーマンス
布、ビニール、スモーク、ほか
上演時間：10分00秒
→展示室5

建築学科

039
今井 優希 Imai Yuki
梨畑幼稚園
プレゼンテーション
スチレンボード、紙、針金、ほか
模型：300×1900×1500、100×600×600
→展示室2

040
河島 有理 Kawashima Yuri
他者が絡み合う暮らし
プレゼンテーション
スチレンボード、厚紙、バルサ板、ほか
模型：1734×1090×428、495×490×70
→展示室2

041
鈴木 正義 Suzuki Seigi
触媒
プレゼンテーション
スチレンボード、スタイロフォーム、紙、アクリル板、ほか
模型：600×2900×910、150×600×600
→展示室2

042
高嶋 佳樹 Takashima Yoshiki
都市と村落における環境のシュルレアリスム
プレゼンテーション
ゴールデンボード、スタイロフォーム、PLA樹脂、3D プリント、ほか
模型：各200×200×200（6点）、各 450×450×200（4点）、各900×900×600（2点）
→展示室2

043
髙谷 竜太 Takaya Ryuta
山に種まき、根をのばす
プレゼンテーション
段ボール、スチレンボード、紙、砂、ほか
模型：350×1000×350、150×350×490、200×350×490、600×900×900
→展示室2

基礎デザイン学科

044
石添 輝 Ishizoe Hikaru
半分の顔
紙
ポスター：各1456×1030（9点）
→アトリウム 2

045
鵜殿 千世 Udono Chise
shy cake
石粉粘土、チークパウダー、紙
立体：60×60×60（7点）、箱：［最小］62×104×104–［最大］62×304×304（4点）
→第10講義室

046
小山 美有奈 Koyama Miyuna
書の味わい
紙、真空パック
本：［最小］120×80×25–［最大］235×100×9（14点）
→展示室4

047
宮田 光 Miyata Hikaru
Biophilic Blues
プリント合板、糸、藍染め、液晶ディスプレイ
立体：各1800×300×16（8点）、映像：3分36秒
→アトリウム 2

048
横井 かおり Yokoi Kaori
いきもの発見
—テクスチャーと色から広がる世界—
アニメーション
液晶ディスプレイ、レジン、ラテックス、スタイロフォーム、布、アクリル絵具、MDF
映像：4分47秒、マペット：［最小］250×150×120–［最大］300×250×300（5点）
→展示室4

映像学科

049
勝永 伊紀 Katsunaga Inori
EXT. ROOM_EVENING
インスタレーション
液晶ディスプレイ、タブレット、ほか
可変［音声：15分00秒を含む］
→展示室1

050
霧生 笙吾 Kiriu Shogo
Journey
実写映画
60分00秒
→美術館ホール（上映）

051
酒井 日花 Sakai Nichika
癒 empathy
手書きアニメーション
6分30秒
→美術館ホール（上映）

052
多田 あかり Tada Akari
#_
手書きアニメーション
5分40秒
→美術館ホール（上映）

053
村田 真知 Murata Machi
gateway
紙、インクジェットプリント
各840×590（3点）、各590×840（10点）
→展示室3

芸術文化学科

054
石塚 詩織 Ishizuka Shiori
おじいさん —ちいさなたび—
紙、鉛筆
絵本：241×210（24頁）
→第10講義室

055
アメ リンゴ（草刈 千優）
ame.ringo（Kusakari Chihiro）
“普遍的” な現実を描く
—目に見えない世界の存在に気づく方法—
綿布、アクリル絵具、木炭、色鉛筆、クレパス
2945×6815
→展示室3

056
新谷 瑛里子 Shintani Eriko
ヴェネツィア派ジョルジョーネの雲
論文：146頁（35,084字）
→第10講義室

057
鈴木 颯良 Suzuki Sora
屏風の役割と絵画表現の関係性
論文：74頁（52,693字）
→展示室4前

058
柳 汐莉 Yanagi Shiori
(not) your family.
インスタレーション
プリンタ、A4コピー紙、キャスター、木材
可変［プリンタ稼働時間：約13分00秒を含む］
→第10講義室

デザイン情報学科

059
伊庭 万柚子 Iba Mayuko
東京で光る鈴蘭
—すずらん通りの由来と街路灯デザイン—
紙
本：257×167（112頁）
→展示室4

060
植木 蒼汰 Ueki Sota
カチャン
スイッチ、センサー、アルミダイキャスト、アクリル板、木材、ほか
コントローラー：各35×55×80（30点）
→展示室4

061
塩見 海怜 Shiomi Kairi
花形装飾の復刻書体開発と
デジタル技術を用いた表現への応用
—THE BERYL TYPE ORNAMENTS—
紙、コンピュータ
本：297×210（58頁）、ポストカード：各100×148（3点）、名刺：55×91、ポスター：各1030×728（4点）、タイプテスター：341×621（モニタサイズ）
→展示室4

062
水藤 琴乃 Suito Kotono
あやとり進化大系
石膏、毛糸、液晶ディスプレイ
模型：各150×300×80（10点）、映像：6分00秒
→アトリウム 2

063
林 日南子 Hayashi Hinako
負生活標本
木材、アクリル板、紙
標本：各148×198×33（50点）、本：148×148（114頁）
→展示室4

064
廣木 爽太 Hiroki Sota
葉脈細工
葉脈標本、鉄、天糸、アクリル板
屏風：1000×1500×400、標本：各90×400×400（2点）
→アトリウム 2

065
山本 日和 Yamamoto Hiyori
HONYA探訪
—本屋との掛け合わせで知る時代と文化—
紙
本：210×148（148頁）
→展示室4

大学院造形研究科

美術専攻［日本画コース］

066
寺野 葉 Terano Yo
まつ
土佐麻紙、岩絵具、水干絵具、アクリル絵具、箔
1940×6670
→アトリウム 2

067
ドル 萌々子 Doll Momoko
空間として、距離感
インスタレーション
雲肌麻紙、高知麻紙、薄美濃紙、キャンバス、木材、岩絵具、油絵具、色鉛筆、鉛筆
可変
→アトリウム 2

美術専攻［油絵コース］

068
安藤 由莉 Ando Yuri
SERENITY PRAYER
Open your eyes｜entrance_1｜entrance_4｜entrance_5｜entrance_7｜from station｜entrance_10｜In front of the alley｜2つの植木鉢、アルミ製｜エレベーター、アーモンド・サン｜grape pattern iron gate｜バックドローイング
キャンバス、綿布、麻布、油絵具、スプレー、木炭、真空パック袋（ポリエチレン）、ほか
3000×9000×10800（展示空間全体）、500×652、455×530、410×530、410×530, 410×530、1303×970、455 × 530、380× 455、1303×1620、2590×1940、1303×894、各297×210（11点）
→アトリウム 1

069
オウ シシン Wang Shichen
Don't Cry My Sister｜你逃不掉的｜这次谁来帮我｜转眼消散在云烟｜Around Around Around｜I Saw You Looking at Me
木製パネル、油絵具、アクリル絵具、木炭
2000×1600、830×920、2100×1600、1700×1990、1800×1350、1650×1800
→アトリウム 1

070
佐藤 絵莉香 Sato Erika
おたすけドッグ｜Arctic good night｜Bros ground｜シャドーウォリアー｜ローカル｜ポイント｜手のひらで教えて｜OKだるま
キャンバス、油絵具
1940×1303、2590×1940、727×500、1940×1303、1620×1120、273×220、380×455、530×410
→アトリウム 1

071
三浦 梨沙 Miura Risa
Sorry, I'm so stupid.
インスタレーション
キャンバス、油絵具、紙、段ボール、本、リボン、栞、T シャツ、ほか
可変
→アトリウム 1

美術専攻［版画コース］

072
KIMUKIMU（木村 大祐／Kimura Daisuke）
somewhere over the rainbow
インスタレーション
ハーネミューレ紙、雁皮紙、銅版、油性インク、流木、ストッキング、エッチング、アクアチント、ほか
可変
→アトリウム 2

美術専攻［彫刻コース］

073
田中 智美 Tanaka Tomomi
HAN｜Hvis｜変遷の理 I｜変遷の理 II
陶土、紐作り
970×300×290、250×400×180、390×630×320、240×380×350
→アトリウム 2

美術専攻［芸術文化政策コース］

074
武関 真衣 Buseki Mai
教育を視点とした竹工芸の普及に関する一考察
—小学校とミュージアムをつなぐ竹工芸の教育普及プログラムの実践—
竹、布
論文：119頁（86,671字）、竹工芸鑑賞キット：100×1300×1000
→展示室2

美術専攻［美学美術史コース］

075
ジョ エキボン Xu Yifan
降三世明王像の成立と造形表現に関する考察
—西安碑林博物館蔵像を中心に—
論文：49頁（28,241字）
→展示室2

076
トウ ウタン Deng Yudan
水月観音菩薩の尊格形成と初期図像に関する一考察
—中国における13世紀までの在銘作品を中心に—
論文：42頁（30,325字）
→展示室2

デザイン専攻［視覚伝達デザインコース］

077
オウ タクイ Wang Zewei
八千年の変遷を辿る：祭儀から戯への面像
—日中両国における儺面の視覚イメージの再構築—
紙
論文：206頁（60,000字）、年表：2000×7000
→展示室2

078
チョウ インメイ Zhang Yunming
漢字の成り立ちから見た中国女性文化史
紙
論文：75頁（55,790字）、ポスター：各420×297（16点）
→展示室2

079
山端 健志 Yamabata Tsuyoshi
ニッケルオデオンワゴンからみる映像の領分
ドキュメンタリー
映像：40分04秒
→美術館ホール（上映）およびホール前

080
リュウ ショウコ Liu Chengzi
マルチ映像の本質的可能性を探る—ポール・ドリエッセン作品の記号的分析を中心に—
紙、液晶ディスプレイ
論文：116頁（47,000字）、映像：10分00秒、パネル：1000×3000
→展示室2

デザイン専攻［工芸工業デザインコース］

081［インダストリアルデザイン］
キョウ コエ Xu Hangye
CONNECT—失語症患者の生活に役に立つプロダクトデザイン
紙、タブレット、3D プリント、ほか
スケジュールボード：280×250×18、ボタンケース：265×70×22、ボタン：20×45×45、映像：1分10秒、12分23秒
→展示室2

082［インテリアデザイン］
オウ カイテイ Wang Huiting
IFOLDED-1
鉄
棚：850×1490×200、1750×918×230、テーブル：450×1100×400、椅子：700×520×400
→展示室2

デザイン専攻［建築コース］

083
大嶋 笙平 Oshima Shohei
YYG project
プレゼンテーション
木材、真鍮、油土、スタイロフォーム、ほか
模型：1000×900×900、1850×300×1800
→展示室2

084
大関 龍一 Ozeki Ryuichi
玉野市民会館計画2022
プレゼンテーション
スチレンボード、スノーマット、アクリル板、ステンレス、スタイロフォーム
模型：260×1800×1350、50×420×297、150×300×420
→展示室2

デザイン専攻［基礎デザイン学コース］

085
ソン ボエイ Sun Muying
LINK PLAY
液晶ディスプレイ、樹脂、紙、コンピュータ、ほか
映像：各7分40秒（3本）、体験装置：2100×2400×700、立体：750×1300×500、本：210×297（80頁）
→展示室2

大学院造形構想研究科

造形構想専攻
［クリエイティブリーダーシップコース］

086
岩﨑 友彦　Iwasaki Tomohiko
読書体験のリフレームを活用して
地域の文化デザインを促進する研究
木材、紙、布
論文：99頁（53,816字）、本棚：2000×2000×450、ブックカバー：［最小］148×114–［最大］302×225（70点）
→展示室2

087
川村 朱乃　Kawamura Ayano
国内繊維産業自社製品開発における
イノベーションモデルの提案 ――山形県ニット工場 峰田メリヤス株式会社との取り組み――
残糸（主にウール）、レザー
論文：91頁（36,105字）、フルーツキャップ：70×120×120、ボトルキャップ：230×90×90
→展示室2

088
長谷川 知栄　Hasegawa Tomoyoshi
出産・子育てを基軸にした
コンビビアルな仕組みの研究
――母親と地元の助産師による共親化の展望
スチレンボード、紙、アクリル板、ほか
論文：277頁（163,135字）、模型：910×610×340、動画：2分8秒、冊子：各210×297（2点）
→展示室2

089
峯村 昇吾　Minemura Shogo
アパレル産業のサーキュラーエコノミーを促進させる、個人のソーシャルイノベーションの研究
スチレンボード
論文：89ページ（35,564字）、パネル：1456×4260
→展示室2

造形構想専攻［映像・写真コース］

090
オウ シュン　Wang Xun
HAPPY END
実写映画
60分10秒
→美術館ホール（上映）

091
テイ ジャクテン　Ting Ruotien
クマとハナ
手書きアニメーション
6分33秒
→美術館ホール（上映）

092
リュウ ハ　Liu Bo
ただいま
実写映画
47分32秒
→美術館ホール（上映）

造形学部通信教育課程

油絵学科［絵画コース］

093
鈴木 千晶　Suzuki Chiaki
ハムちゃん｜自画像
パネル、白亜地、油絵具
1500×1700、1700×1500
→展示室3

094
西口 陽子　Nishiguchi Yoko
黄金町 Ⅰ｜黄金町 Ⅱ
パネル、キャンバス、オイルパステル、油絵具、アルキド樹脂絵具
900×1500、900×1500
→展示室3

095
峯岸 利和　Minegishi Toshikazu
褶曲（しゅうきょく）｜僻（ひが）
キャンバス、油絵具
1490×1160、1490×1160
→展示室3

油絵学科［日本画コース］

096
川嶋 三郎　Kawashima Saburo
水の造形｜水の変容
雲肌麻紙、墨、水干絵具、岩絵具
1648×1331、1331×1648
→展示室3

097
菅原 素子　Sugahara Motoko
晩秋 Ⅰ｜晩秋 Ⅱ
パネル、楮紙、絵絹、水干絵具、岩絵具、銀箔、墨、金泥、ほか
1455×1120、1740×1180
→展示室3

油絵学科［版画コース］

098
伊藤 宗道　Ito Munemichi
無題
パネル、紙、リトグラフ
500×1985、700×700、各995×650（3点）
→展示室3

工芸工業デザイン学科
［生活環境デザインコース］

099
近藤 直子　Kondo Naoko
データ活用しながら一緒に歩く「小町」
アルミパイプ、ウレタンフォーム、アクリル絵具、楮紙、シルクスクリーン
各935×180×180（2点）、900×170×170、860×150×150
→展示室2

工芸工業デザイン学科
［スペースデザインコース］

100
藤森 実季　Fujimori Miki
家づくりを手軽に
――生活から考える「一間半住宅」
プレゼンテーション
マスキングテープ、木材、ベニヤ、スタイロフォーム、水性ペンキ、ワイヤー
実寸再現：4000×6000×2200、壁：2200×3600×220、模型：820×250×850
→展示室2

芸術文化学科［造形研究コース］

101
岩﨑 真明　Iwazaki Masaaki
円空研究における
昭和戦後期から平成期までの着眼点の変遷
――作品と技法から作者の人物像・思想へ――
論文
65頁（27,327字）
→第10講義室

芸術文化学科［文化支援コース］

102
長谷川 恒明　Hasegawa Komei
松井冬子が解放を試みる痛覚の孤独性
――〈痛み〉の視覚化に潜む
フラストレーションとカタルシス――
論文
100頁（39,074字）
→第10講義室

デザイン情報学科
［コミュニケーションデザインコース］

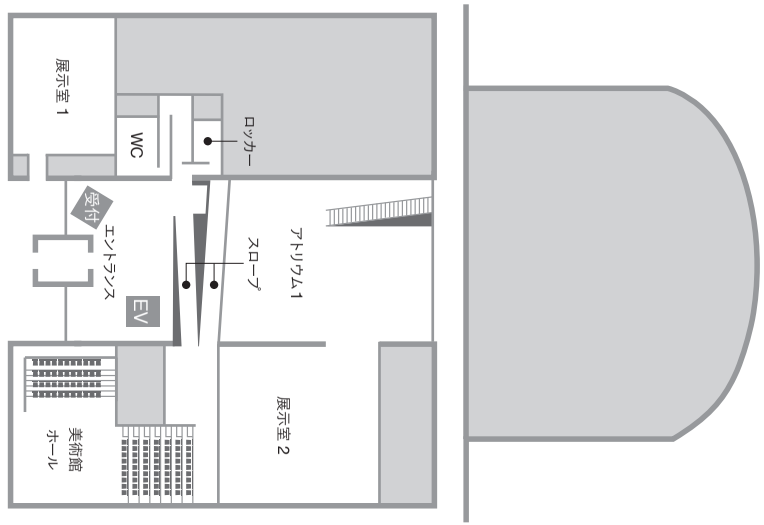
103
小林 健　Kobayashi Takeru
ガサガサ にいつ丘陵図鑑
草原と生きもの／雑木林と生きもの／水辺と生きもの
紙、水彩絵具、ボールペン、レーザーカット
本：297×257（28頁）、297×257（38頁）、297×257（46頁）
→展示室4前

デザイン情報学科
［デザインシステムコース］

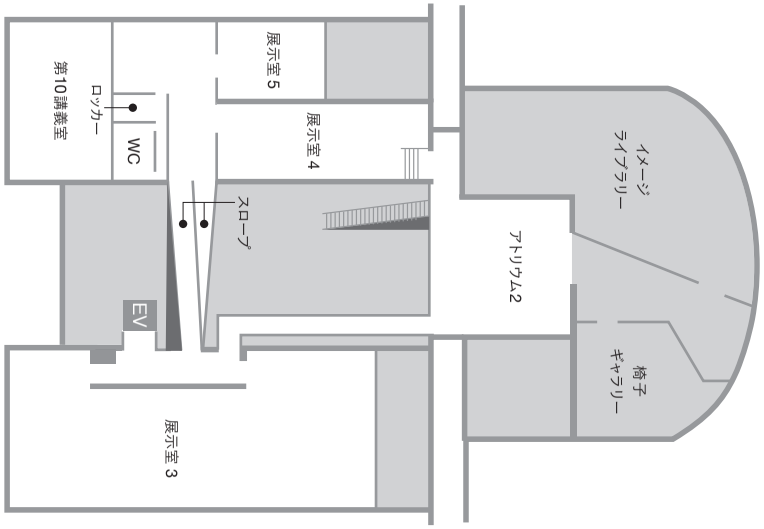
104
阿部 正敏　Abe Masatoshi
THE・MANGANAIZER
コンピュータ、Web カメラ、LED ビデオライト、プロジェクタ、ほか
投影面：1900×1000
→アトリウム1

フロアマップ

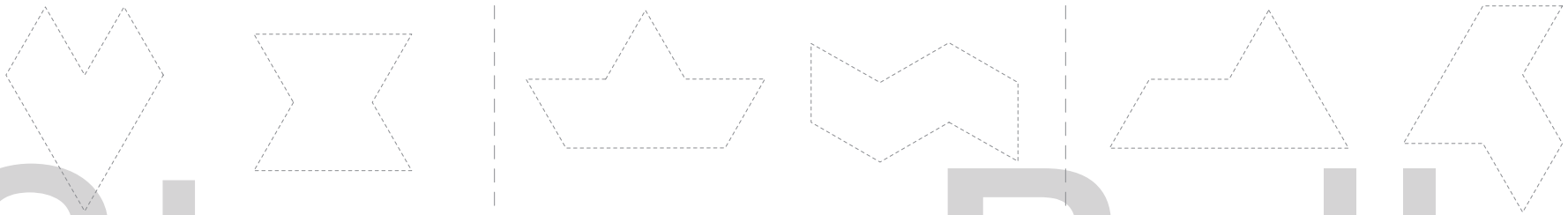
美術館 1F



美術館 2F



［学部］展示室1　［学部］展示室2　［学部］展示室3　［学部］展示室4　［学部］展示室5　［大学院］入口付近



Stamp Rally

学部展と大学院展を両方鑑賞して、
オリジナルハンカチをもらおう!

「令和3年度 武蔵野美術大学 卒業・修了制作優秀作品展」(主催:武蔵野美術大学 美術館・図書館)の会期中、下記の通り会場にスタンプを設置いたします。

- 卒業制作(学部)4月4日(月)――5月3日(火・祝):
  5ヶ所(展示室1、展示室2、展示室3、展示室4、展示室5)
- 修了制作(大学院)5月23日(月)――6月12日(日):1ヶ所(美術館入口付近)

○スタンプを全て押して、5月23日以降に美術館入口横の受付までお持ちください。
オリジナルハンカチと交換いたします。
○1日の配布数を制限する可能性があります。最新情報は当館webおよびTwitterをご確認ください。
○オリジナルハンカチは、お一人さまにつき1点のお渡しとさせていただきます。
○数には限りがございますので、なくなり次第終了いたします。

SELECTED WORKS

令和3年度
武蔵野美術大学 卒業・修了制作
優秀作品展
SELECTED WORKS
from Musashino Art University
Degree Show 2021

会期・会場｜
卒業制作（学部）：
2022年4月4日（月）――5月3日（火・祝）
美術館全館
修了制作（大学院）：
2022年5月23日（月）――6月12日（日）
アトリウム1・2、展示室2、美術館ホール

主催｜
武蔵野美術大学 美術館・図書館

［出品目録］
デザイン｜
三上 悠里
編集・発行｜
武蔵野美術大学 美術館・図書館
印刷｜
株式会社 山田写真製版所
発行日｜
2022年4月4日

@mau_m_l
#ムサビ優秀展 #musabiyushu
#yushu

M&L